



### <知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は少しずつ広がっていますが、「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。そんな中、2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー（介護者）付きで一人暮らしが出来る可能性は大きくひろがりました。この街で、誰もがともにあるために。あたらしい暮らしをはじめている人がいます。

令和元年度障がい者虐待防止等研修事業（鳥取県委託事業）／障がい者虐待防止・権利擁護公開講座

# この街で、誰もが ともにあるために

## 映画『道草』上映会&穴戸監督トークショー

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの中へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばし、ブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わらなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。（2019年・ドキュメンタリー・1時間35分）

※映画公式サイト<https://michikusa-movie.com> 予告編がご覧になれます。



令和元年 **12月10日**（火）

開場 **13：00** 開演 **13：20～16：00**  
（上映後、トークショー）

**会場** 鳥取県立倉吉未来中心  
小ホール（字幕・手話通訳あり）

**定員200名 参加無料（お申し込みが必要です。）**

【お申し込み方法】鳥取県社会福祉士会ホームページ（<https://www.csw-tottori.jp/>）トップページ右上の『研修・SV申し込み』より12月3日（火）までにお申し込みください。

監督・撮影・編集：穴戸大裕  
映像作家。これまでの作品に、東日本大震災で被災した動物たちと人びとの姿を描いた「犬と猫と人間と2動物たちの大震災」（2013年劇場公開）、人工呼吸器を使いながら地域で生活する人を描いた「風は生きよという」（2016年劇場公開）、知的障害がある人の入所施設での人生を描いた「百葉の葉さやま園の日日」（2016年製作）がある。

主催・お問い合わせ先：一般社団法人鳥取県社会福祉士会事務局 ☎0857-30-6308

